

編集後記

『語文と教育』第二十七号をお届けいたします。本号は、国語科教育二編、国文学三編、国語学（日本語学）一編、日本語教育三編の計九編構成となりました。

この一年も、多くの大学・機関・研究会などから当学会宛てに紀要や誌等の研究資料をご寄贈いただきました。謹んで御礼申し上げます。

人文社会系の研究成果の流通は、このような資料の寄贈や交換が担う部分が大きいのと言われてきましたが、最近では資料の電子化のご案内をいただくようになりました。特に「機関リポジトリ」と呼ばれるしくみを利用した、インターネット経由の研究成果の公開が広がっています。『語文と教育』も、本号から「鳴門教育大学リポジトリ」に登録申請する予定です。いろいろな課題はありますが、冊子体と電子版という二つの媒体を通じて、より多くの

方に本誌の内容を読んでいただくような環境を整えていきたいと考えています。

言語系コース（国語）では、日本語教育分野を開設当初から支えてくださっていた永田良太先生が、昨年九月に転出なさいました。一方、十月には、国文学（近現代文学）担当として黒田俊太郎先生が、日本語教育（日本語学）担当として田中大輝先生が着任なさいました。さつそく熱心なゼミ風景が見られるなど、若手のお二人の吹き込む新風に、コースの期待も高まっています（本号にもお二人の御論考が掲載されています）。

加速度的な変化が起こっている時代ですが、学問と教育の発展を目指し、過去に学び未来を創造するために忌憚なく意見交換ができるという学会のあり方は変わらないよう、最大限の努力をしていきたいと考えます。どうか今後ともお力添えをよろしく願います。

（茂木記）

語文と教育 第二十七号

平成二十五年八月三十日印刷
平成二十五年八月三十日発行
（非売品）

編集人 鳴門教育大学国語教育学会

発行人 鳴門市鳴門町高島字中島七四八

（〒七七二一八五〇二）

鳴門教育大学

言語系コース（国語）内

鳴門教育大学国語教育学会

会長 原 卓志

印刷所 協徳島印刷センター